

清明節は、春分の日から15日目（毎年4月4日～5日のころ）にある中国の祝日です。今年は4月5日ですね。清明節の歴史は長く、現在確認できる最も古い記録は、秦の時代のもので、唐の時代になると、全国規模の行事になりました。今では、中国と中華圏の国や地域、例えば、マレーシア、ベトナム、台湾などでも大切な行事です。



中国のお盆： 清明節①

中国人は清明節で何をしますか？

中国の清明節は、日本のお盆とよく似ています。この祝日は主に墓参りのためにありますが、「春」を祝う祝日でもあります。

清明節に行くお墓参りでは、先ず、お墓を掃除します。次に、冥銭を燃やします。中国人は「ものを燃やすと、彼岸にいる家族に届く」と信じているため、紙で作ったお金「冥銭」を燃やす習慣があります。そして、果物とお酒をお供えします。お供え物は、先祖の魂が安息できるようにするためのものです。



お墓参りの他には、外で春や自然を楽しむ行事がいくつかあります。

- 踏青：踏青は、「青を踏む」と書いて、「郊外に行き、緑が満ち溢れる場所で遊ぶ」という意味です。
 - 日本語の「遠足」と似ていると思います。
 - 踏青は、体を鍛えることにも繋がるうえ、都市に住んでいる子供達にとっては新鮮な空気と外の景色を見るいい機会です。
 - 中国の小学校と中学校は、毎年清明節のころに、学生のために「踏青」を組織して、郊外に行きます。
 - 踏青では、次のようなことをします。
 - ブランコ：外で春の空気を楽しむことができます。健康を増進し、ブランコは子供にとって、チャレンジにもなるので、子供の精神も鍛えます。
 - 蹴鞠：外で春の空気を楽しむことができます。体も鍛えられます。
 - 風揚げ：いい運をもたらすこともできると言われています。

国際交流員が紹介する
「一、二、三、楽しい中国文化！」
中国の四大祝日②

柳を挿す：「柳を挿す」は、柳の枝を取って、お家の辺りに挿すことです。扉に挿すのが普通ですが、髪に挿すこともできます。

- 昔、中国人は「柳は厄払いの力がある」と信じていました。
- 柳は育ちやすいので、柳を挿すのは「どこでも生きられる」という祝福も含まれています。
- 木を植える：柳を挿すことから派生した活動です。環境にも良いので、たくさん中国の学校が清明節で木を植えています。



中国のお盆： 清明節②

中国人は清明節で何を食べますか？



青团（せいだん）を食べます。日本語では、よもぎ餅や草餅と言われます。皮はよもぎが入っていますので、緑の色をしています。「青」という漢字は中国語で「緑色」を指しますので、このおやつは「青团」と呼ばれています。皮はよもぎ・もちこ・白玉粉でできていて、中身は餡子や卵の黄身です。作るのばちょっと複雑な手順ですが、とても美味しいです。

国際交流員が紹介する
「一、二、三、楽しい中国文化！」
中国の四大祝日②